

## 秋田駒ヶ岳の火山活動解説資料（平成 22 年 7 月）

仙台管区气象台  
火山監視・情報センター

女岳<sup>めだけ</sup>北東斜面では、2009年 8 月に新たな噴気地熱域が確認された後、4 月にかけて地熱域の拡大が確認されています。女岳南東火口では、地熱の高い箇所が確認されています。

ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

平成21年10月27日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

### 活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図 1）

仙岩峠（女岳山頂の南約 5 km）に設置してある遠望カメラ（東北地方整備局）では、噴気は観測されませんでした。

- ・地震や微動の発生状況（図 2 ～ 4）

火山性地震は少ない状況が続いています。火山性微動は観測されませんでした。

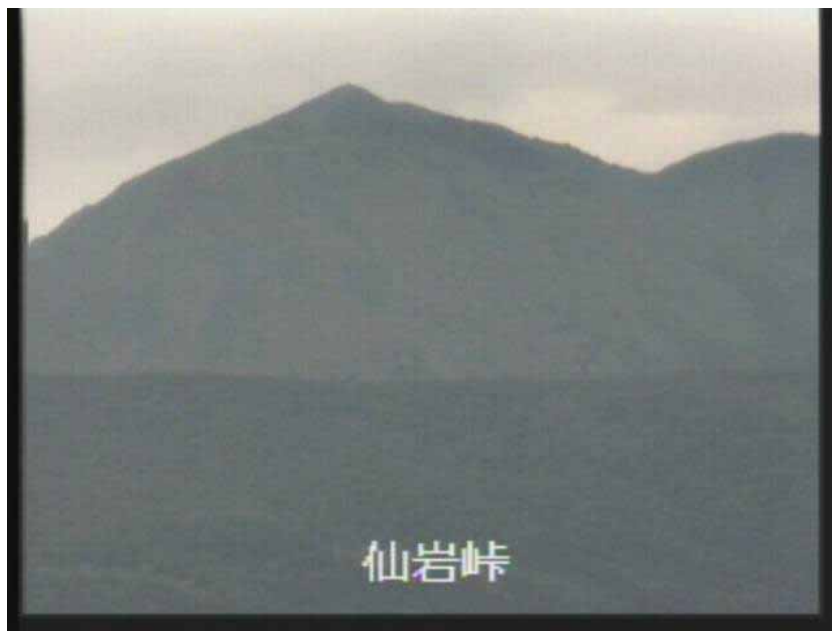


図 1 秋田駒ヶ岳 遠望カメラによる映像（7 月 17 日 15 時 00 分頃）

仙岩峠（女岳山頂の南約 5 km）に設置してある遠望カメラ（東北地方整備局）からの映像。

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 22 年 8 月分）は平成 22 年 9 月 8 日に発表する予定です。

資料は気象庁のデータの他、国土交通省東北地方整備局、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。

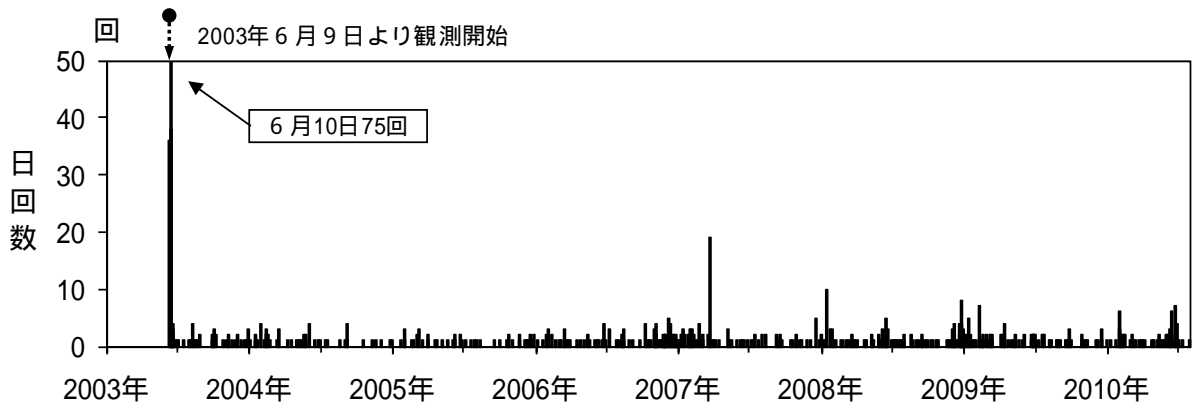


図2 秋田駒ヶ岳 日別地震回数（2003年6月～2010年7月）

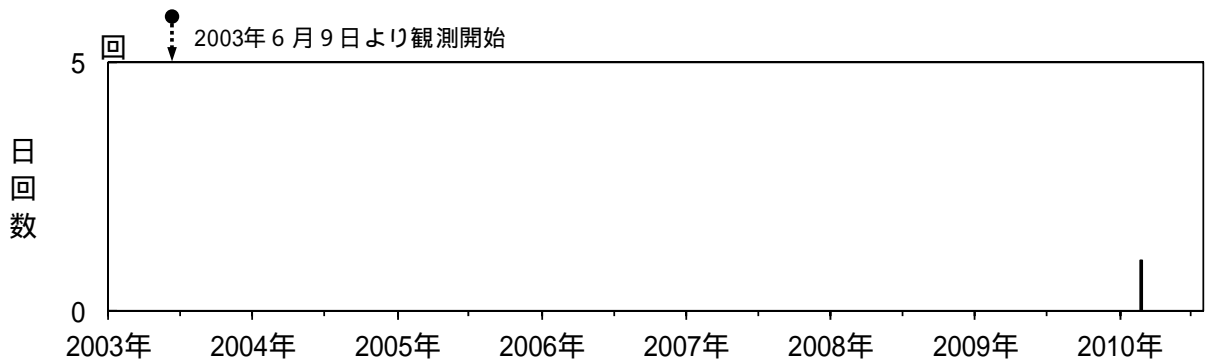


図3 秋田駒ヶ岳 日別微動回数（2003年6月～2010年7月）

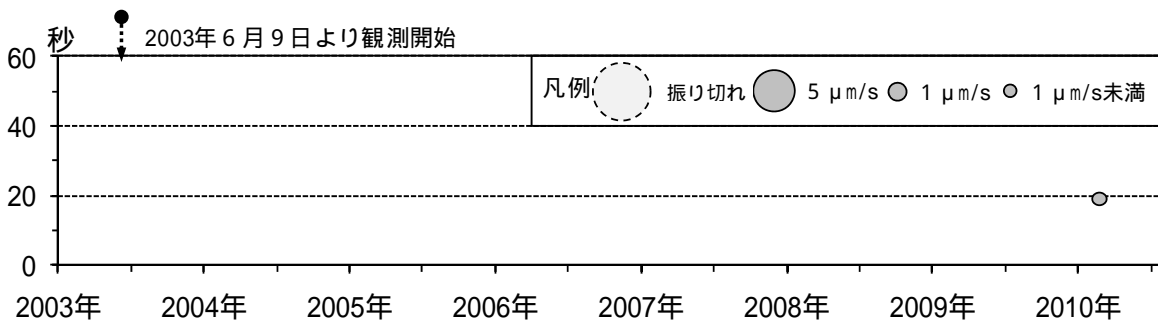


図4 秋田駒ヶ岳 微動の継続時間と上下動最大振幅（2003年6月～2010年7月）  
東北大学秋田駒ヶ岳観測点による。

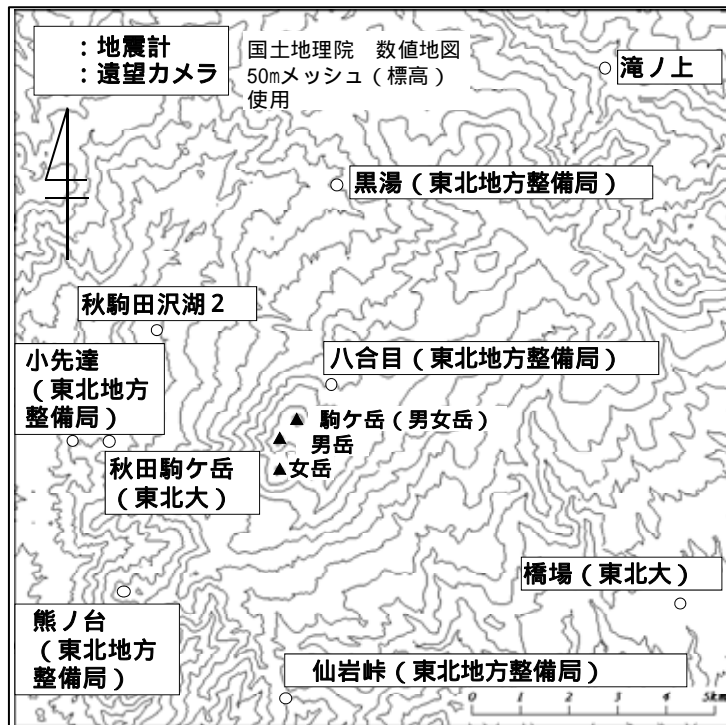


図5 秋田駒ヶ岳 従来の火山観測点名称の観測点配置図  
 （小さな白丸は観測点位置を示しています）

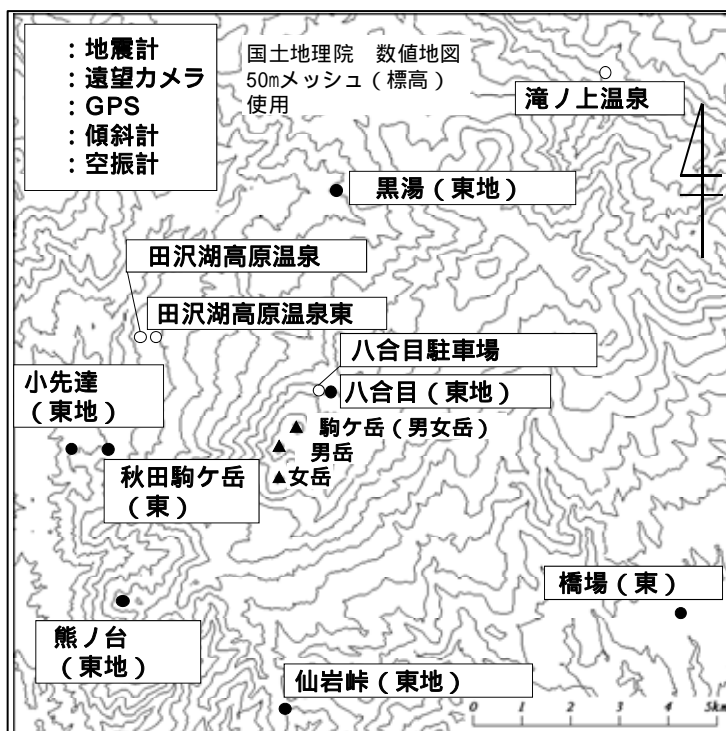


図6 秋田駒ヶ岳 新しい観測点名称を使用した観測点配置図  
 （小さな白丸は気象庁観測点位置を示しています。小さな黒丸は他機関の観測点位置を示しています。また、運用開始前の観測点も含みます。）

気象庁では、2010年8月2日12時より火山観測点の名称を変更しました。  
 この観測点配置図では、気象庁の観測点を新しい名称で記載するほか、この火山活動解説資料にデータを利用している、東北大学、東北地方整備局の観測点についても引き続き記載します。  
 観測点配置図の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。